

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	OHANAサポートスクール		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 3日		2025年 3月 3日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2025年 2月 3日		2025年 2月 3日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	『すらら』学習プログラムを使用した学習の支援	パソコンの学習アプリ『すらら』を使用して学習を支援をすることが出来るように支援をしています。	学校の授業やテストを使用して本人の苦手克服できるように支援を行なっています。
2	個別に合わせた学習指導	元学校の教員など教育のエキスパートによる個別に合わせた学習の支援により、勉強面への支援を行っています。	本人や保護者様の希望に沿った進路の希望や学習の指導を行うことが出来るようにしていきます。
3	多様な年齢との関わり	小学校1年生から高校3年生までの児童を預かっており、一緒に活動を行うことでかかわり方を学ぶことが出来るような環境を整えています。	地域の児童や、兄弟などを交えて行うことが出来るようなプログラムの立案・実施をしています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	日常生活のスキルに対する支援が少ない。	学習支援に重点を置いており、日常生活の場における支援が少ないことです。 個々の勉強を見ており、支援の場において個々に合わせた生活スキルの訓練プログラムを実行するマンパワーが足りないことです。	個々のレベルを把握してその児童に対して何が必要な支援であるかを把握しやすいような計画書の作成を行なっています。 勉強会などを行い児童に対する支援の知識をつけていきます。
2	保護者や地域の方の活用や地域住民との関わりが少ない。	様々な特性の子供がご利用しており集団での活動が負担になってしまうこともあるため、ご利用している児童負担を感じないようお出かけなどの機会を通して地域の方とかがわりが出来ると考えています。 ご家族間でかかわることが出来るような家族会などを開くことが出来ればと考えています。	SSTやロールプレイを通して模擬的な練習の機会をつくり少しずつ地域の子供とかがわりの際の精神的な負担の軽減に努めていきます。 講演会などの機会を通して家族会などの場を提供していきます。
3	各種マニュアルの情報提供の薄さや、避難訓練などの情報発信が弱い。	事務所にて各種マニュアルをそろえています。 避難訓練などの様子を、お手紙やInstagramなどを通して発信していきたいと考えています。	お手紙などを通して避難訓練などの様子を伝えたり、写真などを通して保護者様が様子を把握しやすい様情報提供を行なっています。